



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第306号

2017年2月13日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

後期高齢者医療広域連合議員に堀口市議

1月23日の八千代市臨時議会で、千葉県後期高齢者医療広域連合議会の八千代市選出議員として、日本共産党の堀口明子市議が決まりました。広域連合議会は、後期高齢者の保険料を決めたり、条例の制定や改廃をしたり、予算を定めるなどの審議・決定を行う機関です。県内54市町村から1名ずつ選出された議員で構成されています。現在、日本共産党の議員は、堀口議員を含めて4名（船橋市、習志野市、御宿町選出）です。

厚労省のミスは各市町村が後始末

広域連合全員協議会が1月27日に開かれ、厚生労働省が保険料を算出するシステム設定を誤り、一部のひとに保険料の過大・過小徴収が行われたとの説明がありました。

2月10日の広域連合定例会で、このことについて質問しました。払い過ぎてているひとには、速やかに保険料の還付をしなければなりません。ところが発表から2カ月近く経とうとしているのに、過大徴収者・過小徴収者の人数が、未だに把握されていないとのことでした。

また、少なく払っていたひとからは、個々の事情を伺いながら足りない分を払ってもらうという答弁でした。個々の事情と言いながら「徴収は各自治体に任せる」「追徴課税は税法上問題ない」と市町村任せの無責任な答弁です。

財政安定化基金の活用で保険料の引き下げを

広域連合の一般会計予算については、75歳以上の高齢者を国保から切り離し年齢による差別医療制度に、高齢者の怒りや不安の声があること、全県72万人の被保険者のうち滞納者が1万2千人で増加傾向にあることなどを指摘し、反対討論を行いました。

滞納者増加をもたらした原因は、保険料の引き上げにあります。国から交付されている財政安定化基金を取り崩せば、保険料の引き下げは可能です。

日本共産党は、高齢者の生活実態に寄り添い、子どもから高齢者まで安心して暮らせる千葉県にするために全力で頑張ります。

